

学校とともに馬に興味を持ってもらう活動も行っている
今年の夏休み乗馬教室も大盛況でした
これがきっかけで翔陽高校馬術部に入りたいという児童もいました



Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2015 9

発行・編集 大津市 総合政策課
〒869-1292 熊本農畜地部大津町大字大津 1233 番地
TEL:096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 印刷センター株式会社

UD FONT
奥やすぐ読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ 9

SEPTEMBER 2015

今月の表紙

7月25日に行われた大津保育園の夏祭りの1コマ。からいもくんの御輿をみんなで「ワッショイ、ワッショイ」にぎやかな雰囲気包まれていました。



今月のみどころ

平成27年国勢調査のお知らせ

5年に一度の国勢調査、インターネットで回答できるようになりました

大津元気くんの「マイナンバー」ってなに？②

マンガで元気くと学ぼうマイナンバーの第2回



「人並みならば
人並み」

みやざき
宮崎 えいき
栄喜さん

昭和30年大津町生まれで、昨年三月に大津に戻り、翔陽高校で馬術のコーチをしている、元オリンピッククライダーの宮崎栄喜さん。今回はそんな宮崎さんをクローズアップする。

昭和30年頃、農耕馬が家に当たり前にいるような時代だった。馬は仕事相手であり遊び相手。中学生になった宮崎さんはたまたま見た高校の部活で乗馬しているのを見て、「馬術競技としての馬」を選ぶ。きっかけは憧れだった。

高校は必然的に馬術部があった大津農業高校（現在の翔陽高校）。入学式が終わってすぐに馬術部のある馬小屋に行き入部を決めるも、一頭しかない馬に新入生である宮崎さんが練習中に乗れることはなく、毎日馬の世話をするだけの部活時間。「馬に乗りたくない」を我慢する日々を過ごす。思い立ち、早朝誰もいない時間に、「秘密の特訓」を開始する。後々、特訓が当時の校長に見つかってしまう事になるのだが、逆に励まされそれが宮崎さんのやる気を奮い立たせる転機になった。

高校では国体団体優勝、インターハイ三位に入った。卒業後は北海道で馬の世話をする仕事につきたかったが、当時の馬術部の監督は大学行きを勧めた。そして、アジア大会や、オリンピックに出場するまでになった。そんな宮崎さんの座右の銘は「人並みならば人並み」努力は宮崎さんの背中を押し続けた。

その言葉は翔陽高校の生徒たちに引き継がれていき、自ら考え、努力をさせる教育スタイルは「考える力」を伸ばしている。今年は3年ぶりにインターハイにも出場した。

「私の人生は馬一筋、私を育ててくれた大津に恩返しをしたい。その一つの方法として長年の経験がある、技術と馬への愛情をこれからも伝えていきたい。」と宮崎さんは語る。第一、第三の「宮崎さん」が生まれるのもそう遠くない未来かもしれない。

つづきの声

▼台風15号は皆さん大丈夫だったでしょうか。水防班で未明から出ておりましたが雨風がすさまじい状況でした。▼9月20日の8時30分から町生涯学習センターで「肥後おおづ朝市」会場を中心としたお掃除ボランティアイベントを開催します。お掃除後は朝市も楽しめるイベントになっていますのでお時間のあてはぜひ遊びに来てください。▼少しでも秋の気配がしてきました。熊本城マラソンが当たること祈り、走る練習をしようと思えます。(IDEO)

からいもくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。



登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。